

モノを蒐めるまなざし - 早稲田大学會津八一記念博物館蔵のコレクションとともに -

- 会期 ~ 2017年 1月 29日(日)
- 会場 企画展示室
- 観覧料 一般・・・200円(100円) ( )内は20名以上の団体料金  
高校生以下及びかちすくらぶ会員・・・無料



アイヌ民族資料/白布切抜紋衣(カバラムフ)  
早稲田大学會津八一記念博物館 写真提供

早稲田大学にある會津八一記念博物館には、會津八一をはじめとする、東洋美術史研究等に携わった研究者の蒐集品として、様々な分野の資料・作品が収蔵されています。美濃加茂市でも、この地域の地道な調査や記録、資料収集を続けた研究者がいました。本展では、そのような研究や資料蓄積の成果、学術研究に邁進した「蒐集者」の姿を紹介します。  
【美濃加茂市・早稲田大学文化交流事業】

ミュージアムのうらがわ③

文化の森をいろんな角度から紹介するよ!



聞き取りで歴史を伝える

美濃加茂市の伊深に、民俗学の研究をしていた佐野一彦さん(1903~1997)という方がいました。佐野さんは東京で生まれ、1945年に伊深村(現・美濃加茂市伊深町)に家族で疎開し、定住されました。今まで過ぎてきた都市とは違う農村の暮らしに会い、高い興味・関心を示し、伊深の暮らしを日記に書きはじめます。単に一個人の日記というだけでなく、さまざまな出来事を通して人とのつながりを綴り、戦争という極限状態の中で、つましく日々の生業にいそしみ、互いを思いやり、あたたかく心を配る伊深の村人の姿を書き記しています。この日記の一部は『ふるさとファイルNo.16佐野一彦の「伊深日記」』として文化の森のショップで販売していますので、よろしければお手にとってみてください。

原稿や手紙、佐野さんの撮りためた写真などは、次女の綾目さんより、2014年に当館に寄贈していただきました。その資料目録を作るために、分類分けや大きさの計測、ページ数のカウントなどといった整理作業を、歴史の専門である当館学芸係臨時職員の学生が行っています。著作原稿は昨年度目録化が終了し、『紀要第15集』に掲載しました。現在は手紙の目録作業に入っています。手紙は、お弟子さんや勤めていた大学関係の方々、娘さんとのプライベートなものまで実に様々で、その大切な



綾目さん宅にて聞き取り中

みのかもかるちすくらぶ 入会のご案内

「かるちすくらぶ」は、みのかも文化の森と美濃加茂市文化会館 共通の友の会です。ふたつの施設を楽しむためのさまざまな特典をご用意して、皆様をお待ちしています。

特典

- ・ 市民ミュージアム企画展の観覧料無料(何度でも)
- ・ 文化会館の自主事業入場料の割引。指定席先行予約が可能
- ・ 一日研修バスツアーへの参加(参加人数に制限有)
- ・ 「ミュージアムニュース」「文化会館だより」の送付(年4回)
- ・ 12月に絵本作家・高島純さんによるカレンダーをプレゼント
- ・ みのかも文化の森内カフェ「bee cafe」のドリンクチケットプレゼント(モーニングOK)

入会について

- ① 年会費 1,200円  
お申し込みいただいた翌年の同月末まで有効です。
- ② お申し込み方法  
それぞれの施設に設置してある申込用紙にご記入の上、会費を添えて窓口でお申し込みください。郵便局、銀行振り込みでお申し込みすることも可能です。

※その他詳細やご不明な点など、お気軽に各施設へお問い合わせください。お電話での入会受付は行っておりませんので、ご了承ください。



MUSEUM NEWS vol.84

みのかも文化の森 2017年 1/5発行



森の観察日記 33

ジャノヒゲ(別名:リュウノヒゲ)

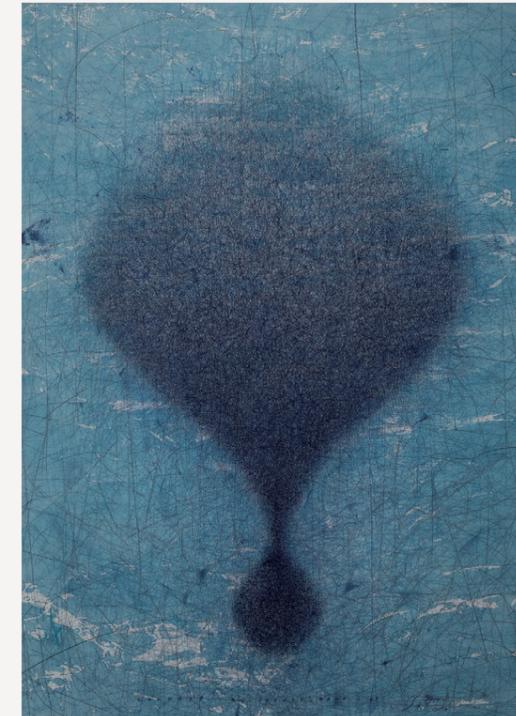
野山だけでなく家庭の庭などにも植えられるジャノヒゲ。葉の間から姿を現す深い色の青い実は12月頃から春先にかけてつきます。この実は野鳥もついばみにやってくる。すっと伸びた細い葉を竜のヒゲに見立てた別名も。



BUNKANOMORI EXHIBITION!

静かなる森の要請 篠原芳子展

- 会期 2017. 2.11[土] - 3.20[月]
- 会期中の休館日 2月13日、20日、27日 3月6日、13日
- 会場 企画展示室・美術工芸展示室 観覧無料



no sender's name-01 撮影:三品鐘

「芸術と自然」をテーマにしたレジデンスプログラムです。今年度は自然に思いを巡らせ、「correspondence(文通、通信)」というテーマで、紙や顔料を使った平面や立体作品を制作する京都市在住の作家・篠原芳子(1956年~)を紹介します。6月、森に囲まれた美濃加茂市民ミュージアムを訪れた作家は、森の中に建つアトリエに暮らし、自然との交信を森で実践するように滞在制作を開始しました。森が与えてくれる素材や、その場で思い浮かぶ心象を、作家は「手紙」と考えます。それは単なるメッセージに留まることのない、作品制作への強い「要請」であると捉え、「応え」として作品を制作します。展覧会では絵画や、書き綴った言葉の表現によって空間構成を試みます。篠原芳子が手掛ける作品には、自然に相通じる根源的な力が宿っています。そこに託された作家の「言葉」に耳を傾けてみてください。人も自然として生きているのだと、気付かせてくれることでしょう。

forum & event

	●日時	●会場	●内容
アーティストトーク	2月11日(土) 14:00~15:00	企画展示室 美術工芸展示室	作家が展示作品や今回の滞在制作について語ります。 参加料: 無料 申し込み: 当日13:30より受付
ワークショップ 「鉛筆と紙で心を耕す —自然との交歓—」	3月5日(日) 13:00~16:00	生活体験館	自然から受けとった着想を手紙と捉え、そのイメージを元に絵に描く、篠原芳子の制作を追体験するワークショップです。森の中や養蚕民家を復元した「まゆの家」に身を置いて、その場で湧き起こってくる自身の感覚を、即興で表現してみましょう。 参加料: 無料 申し込み: 当日12:30より受付 定員: 20名(小学校高学年以上)

みのかも文化の森 美濃加茂市民ミュージアム MINOKAMO CITY MUSEUM

〒505-0004 岐阜県美濃加茂市蜂屋町上峰屋3299-1  
TEL.0574-28-1110 FAX.0574-28-1104  
http://www.forest.minokamo.gifu.jp/

●ご利用のご案内  
開館時間 9:00~17:00  
(ただし、施設の貸出し利用は8:30~22:00まで)  
休館日 月曜日(ただし、祝日の場合は開館し、直後の平日休館)、  
年末年始

■1月・2月・3月の休館日  
12月29日~1月3日、10日、16日、23日、30日  
2月6日、13日、20日、27日 3月6日、13日、21日、27日

■交通  
鉄 道/JR名古屋駅より美濃太田駅まで東海道本線・高山本線  
經由特急「ひだ」で約40分、駅北口より徒歩約17分  
自動車/東海環状自動車道美濃加茂ICより約5分、駐車場174台

■あい愛バス  
JR美濃太田駅北口より乗車、「文化の森」下車(約8分)  
平 日/日本昭和村・富加線(1日3往復)  
土日祝日/文化の森公園線(1日7往復)  
運 賃/一般200円 小中学生100円 未就学児無料  
時 刻 表/詳しくは、美濃加茂市ホームページをご覧ください



**事前申し込みについて** はがき(住所、氏名、電話番号、希望講座を記入)、ご来館、文化の森ホームページ講座申込専用フォームのいずれかの方法でお申し込みください。 ■電話、FAXによる受付は行いません。 ■応募者多数の場合は抽選となります。

**イベント** minokamo city museum

●日時	●名称	●会場	●参加料	●定員	●内容
～3/12(日)	ていねいな暮らしと 道具展	民具展示館	無料	—	昔の道具から、人々の知恵や生活の苦労などを知ります。学校の学習活動とも連携し、体験しながら学びます。
1/21(土) 14:00～15:00	第168回 森の朗読会	緑のホール	無料	120名	作品:「その昔 だいくま」『本所おけら長屋』より 畠山健二/作
2/18(土) 14:00～15:00	第169回 森の朗読会	緑のホール	無料	120名	作品:「羅生門」 芥川龍之介/作 「春告鳥」 杉本章子/作
3/18(土) 14:00～15:00	第170回 森の朗読会	緑のホール	無料	120名	作品:「花屋の柳」 宇江佐真理/作

**四季を食べる講座** minokamo city museum

ボランティア「伝承料理の会」と一緒にこの地域に伝わる料理を作ります。料理にまつわる楽しいお話も聞けます。持ち物:エプロン、三角巾

●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
1/15(日) 10:00～13:00	伝承料理の会が 給食を作ったら…	年々、進化している子どもたちの給食を、伝承料理の会が作ったら、こうなります。	事前申込み 〔12/11(日)～12/25(日)〕	生活体験館	300円	20名
2/7(火) 10:00～13:00	手作りみそ	手作りみそは、色や味が変化していくのをご存知ですか?	当日受付 (30分前より)		300円	
2/19(日) 10:00～13:00	芋あめと さつまいも料理	芋あめ…食べたことありますか? ほんのり甘いおやつと料理を、ほんのり甘い記憶とともに…。	当日受付 (30分前より)		300円	

**ていねいな暮らし講座** minokamo city museum

●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
1/28(土) 13:30～15:00	手縫い	夜なべ仕事だった縫いものを作ります。親子歓迎。 持ち物:はぎれ(あれば)	当日受付 (30分前より)	生活体験館	100円	20名
2/11(土) 5 4/2(日)	年中行事 ひなかざり	土びなをかざり、野山の花をそなえます。【自由観覧】	—		—	—
2/25(土) 13:30～15:00	「ていねいな暮らし」 のお話	昭和30年代、つつましくていねいな暮らしのあった頃をお話いただきます。 お話:佐野綾目さん(伊深町)	当日受付 (30分前より)		無料	20名
3/12(日) 9:30～12:00	春を染める	春の草木で絹布を染めます。親子歓迎。持ち物:エプロン	当日受付 (30分前より)		1000円程度	20名

**アートな1日講座** minokamo city museum

●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
1/29(日) 13:00～16:00	レーザーで作る カードケース	大人のための講座です。レーザーで名刺入れを作りましょう。	事前申込み 〔12/11(日)～12/25(日)〕	工芸室	3000円	20名
2/26(日) 13:00～16:00	体感陶芸	土を焼いてつくる陶芸の原点を体感します。出来上がった作品は後日お渡しします。 (送付の場合有料) 持ち物:エプロン、タオル	当日受付 (30分前より)	陶芸室	1000円	20名

ミュージアムレポート

学習ボランティアの活躍

文化の森では、ほぼ毎日小学生や中学生がバスでやってきて、体験学習をして帰っていきます。森の中でどんぐりを拾って、ドングリコマを作ったり、生活体験館(まゆの家)では、昔の人たちが使った道具を使って、ランプの光を体験し、石臼で大豆をきな粉にしたり、箱膳の説明を聞いて昔の人の食事の様子を聞いたりしています。

そこで、活躍しているのが学習支援ボランティアの人たちです。

ランプに火を灯したり、石臼で豆を挽くなどといった体験は、学習に来ている子どもたちの親の世代でも経験している人は少ないと思います。

そんな四半世紀以上前の人々の話をボランティアの方が、手振り身振りで子どもたちに話して聞かせると、子どもたちは興味深く聞きます。ランプを灯すと「おおっ」と驚きます。石臼で大豆を挽いてきな粉ができると、きな粉の香ばしい香りが石臼の周りに広がって、「おいしそう」という声が聞こえます。けれど最後にボランティアさんから自分が小学生の頃はこれを1時間や2時間やらないと遊びに行けなかったんだよという話を聞くと、「へえー」といって神妙な顔つきになります。

今は、買えばなんでも手に入る時代になりましたが、こうしたボランティアさんの昔の話を聞くことは、子どもたちにとって新鮮で新しい体験として記憶の中に残っていくようです。この子どもたちの経験がまた次の世代に引き継がれていくことを文化の森は願っています。

あなたも自分の体験や経験をボランティア活動に活かしてみませんか。

(T・K)



昔のランプの明かりを説明するボランティアさん



石臼の説明をするボランティアさん

文化の森ボランティア募集

文化の森では、ボランティアを募集しています。「文化の森が好きで何かお手伝いしたい」「歴史やアートに興味がある」「人に教えることが好きだ」「子どもたちと一緒に活動したい」…そんな皆様をお待ちしています。

●申し込み方法 直接またはお電話  
(どの分野のボランティアを希望するかお伝えください)

●資格 18歳以上ならどなたでも。性別、資格は問いません。

●報酬について  
ボランティア活動を目的として、無償での活動です。

●特典  
みのかも文化の森が主催する他館の視察や見学会に参加できます。また年4回ほど開催する企画展の解説会に無料で参加できます。

●その他 活動中の万一の事故に備えて市の負担でボランティア保険に加入します。

●ボランティア説明会 2017年4月5日(水) 10:00～

- 募集する分野
- 展示ガイド…… 常設展示室の案内や地域の歴史・文化を調べたり伝えたりしています。
  - アート…… 美術の分野の講座や美術の企画のお手伝いなどをします。
  - 生活体験…… 主に生活体験館や民具展示館において、昔の暮らしを伝える講座・イベントの案内をします。
  - 学習支援…… 児童・生徒が文化の森で学習する際のお手伝いをします。
  - 伝承料理の会…… この地域に伝わる料理を研究し、生活体験館のクドを使い「四季を食べる講座」で教えています。
  - イベント…… 森のコンサートを中心にイベントのお手伝いをします。